

# 平成20年度わたしたちのまちの予算

当初予算額は、一般会計・特別会計・企業会計を合わせ **214億円**  
前年度より23億円減少（9・7%減）

## 予算編成方針

平成20年度当初予算は、財政を健全化しつつ、住民定住のまちづくりを目指す予算を基本姿勢とし、次の二つの基本方針に基づき編成しました。

### ■ 行財政改革の断行

平成20年度当初予算は、財政構造改革を軌道に乗せる上で極めて重要な予算です。このため、「集中改革プラン」や「公債費負担適正化計画」などに則った改革項目を確実に反映させ実行することにより、行財政改革を断行し、健全で持続可能な財政構造を確立する予算としました。

### ■ 総合振興計画の着実な推進

平成20年度当初予算は、すべての施策を通じ、総合振興計画に掲げる

まちづくりの最重要目標である「人口の維持・増加」の達成を目指します。このため、次の施策を重点施策とし、人件費、公債費、繰出金などの削減による行財政改革の効果を活用し、これら施策へ財源を重点的に配分することにより、住民が未来に向かって希望の持てる施策を積極的に展開し、総合振興計画を着実に推進する予算としました。



## 重点施策

- **住みやすいまちを演出する**
  - 都市基盤・公共施設の充実
    - 国道・県道・町道などの改良整備による道路網の整備
    - 危険空き家に伴う防災空地・公園化による憩いの場の整備
    - 携帯電話施設の整備による情報通信基盤の拡充
    - 住宅地の供給による宅地・住宅の整備
  - **くらしの安全確保**
    - 河川・砂防・急傾斜地などの水害・土砂災害対策や海岸の保全整備による災害の予防
    - 鯖江・丹生消防組合丹生分署（仮称）の整備による消防防災・救急体制の充実
    - **安心して暮らし続けられる保健・医療と福祉の充実**
      - 子育て支援策の拡充による子育て・少子化対策の充実
      - **町民主体のまちづくりの推進**
        - 男女がともに多様な価値観や能力を活かせる社会の実現による
  - **男女共同参画社会の推進**
    - **次世代を担う人材育成**
      - 朝日中学校の整備による学校教育環境の充実
      - 国際交流活動と国際姉妹都市との交流による国際交流の推進
    - **地域資源と共生する産業の振興**
      - 農業生産基盤と農村生活環境基盤の整備による農業の振興
      - 漁港の改良整備や漁村生活環境基盤の整備による水産業の振興
      - 越前焼産地づくりの推進による伝統産業の振興
    - **観光地としての新たな魅力向上**
      - 越前ブランドを活かした観光の魅力向上による観光産業の活性化
      - **自主・自立型の行財政基盤の確立**
        - 住民に財政情報を開示し、財政構造改革への取組の強化による財政の健全運営

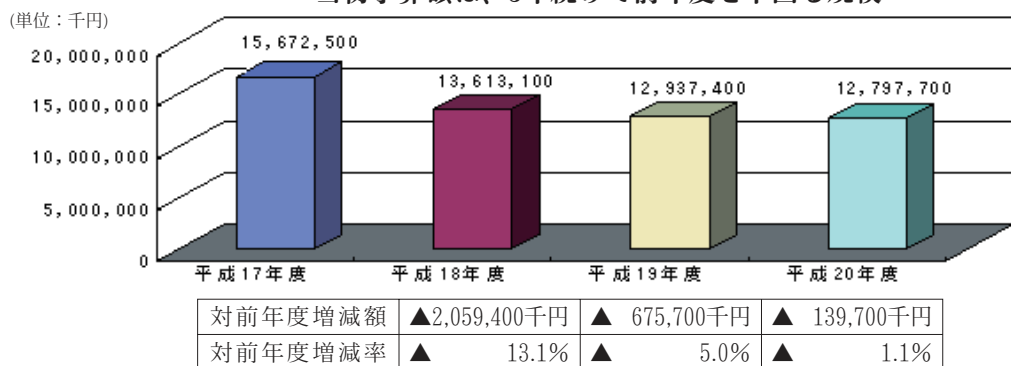
## 予算規模

会計名	平成20年度予算額	平成19年度予算額	増減額	増減率
一般会計	127億9,770万円	129億3,740万円	▲ 1億3,970万円	▲ 1.1%
特別会計	70億2,031万6千円	90億6,749万2千円	▲ 20億4,717万6千円	▲ 22.6%
企業会計	15億9,114万5千円	16億9,974万7千円	▲ 1億860万2千円	▲ 6.4%
合計	214億916万1千円	237億463万9千円	▲ 22億9,547万8千円	▲ 9.7%

**一般会計 128億円**  
厳しい財政状況の中、歳出を抑制  
一般会計は、歳入から歳出への財政運営の視点に立ち、朝日中学校建設事業や鯖江・丹生消防組合丹生分署（仮称）建設事業などの重点施策に予算配分を重点化する一方、物件費、補助費などの経常経費を削減し、歳出を抑制しました。

### <一般会計当初予算額の推移>

当初予算額は、3年続けて前年度を下回る規模



会計名	平成20年度予算額	平成19年度予算額	増減額	増減率
国民健康保険事業	21億5,216万4千円	21億7,148万4千円	▲ 1,932万円	▲ 0.9%
老人保健事業	2億3,013万3千円	25億6,699万7千円	▲ 23億3,686万4千円	▲ 91.0%
介護保険事業	17億6,816万7千円	17億7,283万円	▲ 466万3千円	▲ 0.3%
後期高齢者医療事業	2億5,626万7千円	2億5,626万7千円	▲ 0円	皆増
簡易水道事業	9億9,249万6千円	8億7,012万6千円	1億2,237万円	▲ 14.1%
公共下水道事業	10億2,088万7千円	9億7,116万円	4,972万7千円	▲ 5.1%
集落排水事業	5億777万8千円	6億2,008万6千円	▲ 1億1,230万8千円	▲ 18.1%
温泉事業	6,497万2千円	6,771万円	▲ 273万8千円	▲ 4.0%
農林漁業体験実習館事業	2,745万2千円	2,709万9千円	▲ 35万3千円	▲ 1.3%
合計	70億2,031万6千円	90億6,749万2千円	▲ 20億4,717万6千円	▲ 22.6%

**特別会計 70億円**  
後期高齢者医療事業 特別会計を設置  
特別会計では、国の医療制度改革により、現行の老人医療制度に替わる新たな医療制度として、平成20年4月から後期高齢者医療制度が施行されますので、後期高齢者医療事業特別会計を設置しました。また、老人医療制度の後期高齢者医療制度への移行に伴い、老人保健事業特別会計の当初予算額が前年度より大きく減少しました。

会計名	平成20年度予算額	平成19年度予算額	増減額	増減率
上水道事業	3億4,539万7千円	3億5,185万2千円	▲ 645万5千円	▲ 1.8%
国民宿舎事業	1億3,852万8千円	1億4,593万5千円	▲ 740万7千円	▲ 5.1%
国民健康保険病院事業	11億722万円	12億196万円	▲ 9,474万円	▲ 7.9%
合計	15億9,114万5千円	16億9,974万7千円	▲ 1億860万2千円	▲ 6.4%

※ 予算額は、収益的支出と資本的支出の予算額を合計した額です。

**企業会計 16億円**  
織田病院で院外処方を開始  
企業会計では、平成20年6月から織田病院で医薬分業の院外処方を始めますので、外来分の薬品費の減などに伴い、国民健康保険病院事業会計の当初予算額が前年度より減少しました。